子易・中川原遺跡見学会ミニ講座　　平成 31 年2月3日

伊勢原の後期古墳

公益財団法人かながわ考古学財団　新山　保和

１：はじめに

◎後期古墳とは？　　５世紀末～６世紀末
◎終末期古墳とは？　　６世紀末～７世紀末（一部８世紀に及ぶ）

２：市内の後期・終末期古墳

◎市内の首長墓
　石野瑛氏の昭和初期から踏査→古墳 70 基

〇三ノ宮３号墳　1964（昭和 39）年調査：現東名の調査
・推定 20m の円墳
・無袖式横穴式石室
　全長 6.8m・幅 1.3m・奥壁石室幅の１段積み
　堀り方 長さ 8.2m、幅 4.4m

・出土遺物･･･馬具（鉄地金銅張雲珠、鉄製環状鏡板付轡）、武具（鉾先、銅製責金具、直刀、攝子、刀子、鏃）、装飾品（ガラス丸玉）、土器類（土師器坏、須恵器坏・瓶・甕）
・時期･･･７世紀前半

〇三ノ宮７号墳　1992（平成４）年～1995（平成７）年：現東名拡幅の調査
・推定 15m の円墳
・無袖式横穴式石室
　全長 5.2m（玄室長 4m・羨道長 1.3m）、幅１m、奥壁石室幅の１段積み
・出土遺物･･･武具（鉄鏃、鹿角装刀子）、土器類（土師器坏、須恵器ﾊｿｳ・甕）、装飾品（勾玉、管玉、丸玉、小玉）
・時期･･･６世紀前半
・周溝内の土坑から馬の骨(2.5 歳)出土
・相模地域の初現的な横穴式石室

〇登尾山古墳

・両袖式横穴式石室
玄室部　全長奥幅 1.6m・前幅 1.5m・長さ 2.8m・奥壁は側壁と同サイズの４段積み
・羨道部　長さ 3.2m・幅 0.8m
・墓道　　長さ 4.5m 程度

・出土遺物･･･有蓋脚付銅碗、五獣形鏡、馬具（心葉形鏡板付轡、心葉形杏葉、雲珠、辻金具、帯金具、鞍金具、鐙）、武具（装飾大刀、大刀、刀子、鉄鏃）、装飾品（水晶製切子玉、丸玉）、土器類（土師器坏、須恵器高坏）、埴輪類（家形埴輪、人物埴輪）
・円墳
・時期･･･６世紀末

〇埒免古墳

・直径 40m の円墳
・片袖式横穴式石室
玄室長 4.8m・幅 2m・高さ最大 2.2m・奥壁は石室幅の２段積み
羨道長 4m 以上・幅 1m

・出土遺物･･･銅鏡、武具（装飾大刀、大刀、刀子、鉄鏃）、馬具（鞍、鏡板、杏葉、磯金具）、玉類（琥珀製棗玉）など
・時期･･･６世紀末

３：子易・中川原遺跡の古墳

〇１号墳
・墳形：方墳
方形石積：南北長 12.2m×東西長 14.8m（現状）
・墳丘内石列（外側）：12.2m×14.2m（現状）
・墳丘内石列（内側）：10.4m×10.7m（現状）
・横穴式石室
堀り方長 8.3m、幅 6.5m：楕円形
玄室長 3.7m・幅 0.9m・高さ 1.5m（現状）・奥壁２段積み
羨道長 1.5m 以上・幅 0.7m
・出土遺物：鉄製品
・時期：不明

〇２号墳
・墳形：直径 20m の円墳
・周濠：逆台形で幅 2.5m 前後

・無袖式横穴式石室
堀り方長７m、幅４m：長方形
石室全長 5m・石室幅 1m
前庭部：ハの字形で、石積みが葺石に連続　幅 1.5m 前後・長さ 2.3m
・出土遺物：前庭部から須恵器片、土師器片、鉄製品、周溝からほぼ完形の須恵器広口壺
・時期：７世紀前半
〇横穴墓
・３基
・羨道部石積施設を持つ横穴墓
→類似の横穴墓　三ノ宮・上栗原遺跡横穴墓（第４・５号）
三ノ宮・下尾崎横穴墓（第 10・19・23 号）
◎近年の周辺調査成果
〇上粕屋・子易遺跡
・古墳６基　小石室１基
〇上粕屋・石倉中遺跡
・古墳６基

４：まとめ

◎終末期における全国の様相
〇畿内　天皇陵などの首長墓が前方後円墳から大型方墳へ　　方墳→八角墳
用明天皇陵（春日向山古墳）一辺 65×60m 高さ 10m　７世紀前半
推古天皇陵（山田高塚古墳）一辺 59×55m 高さ 11m
*墳形には円墳・方墳・八角墳・上円下方墳などがあり、ほとんどが円墳
〇関東の首長墓
千葉　方墳　龍角寺岩屋古墳（一辺 78m）７世紀前半～中頃
＊龍角寺古墳群（６世紀から前方後円墳や円墳などが築造され、７世紀後半まで継続
駄ノ塚古墳（一辺 62m）７世紀前半
群馬　方墳　総社愛宕山古墳（一辺 55m 高さ 8m）７世紀前半　総社古墳群
宝塔山古墳（54×49m 高さ 12m）７世紀末
蛇穴山古墳（一辺 39m）７世紀末～８世紀初頭
＊総社古墳群（総社二子山古墳から続く古墳群で、全長 89.9m の前方後円墳）
〇伊勢原周辺
秦野市　桜土手古墳群　７世紀前半から８世紀初頭まで円墳のみで形成
＊神奈川県内で唯一の方墳を含む子易・中川原遺跡
→中世まで展開

参考文献

田尾誠敏 2007「登尾山古墳・埒免古墳」広瀬和雄・池上悟編『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊 15 雄山閣
静岡県考古学会 2003『静岡県の横穴式石室』

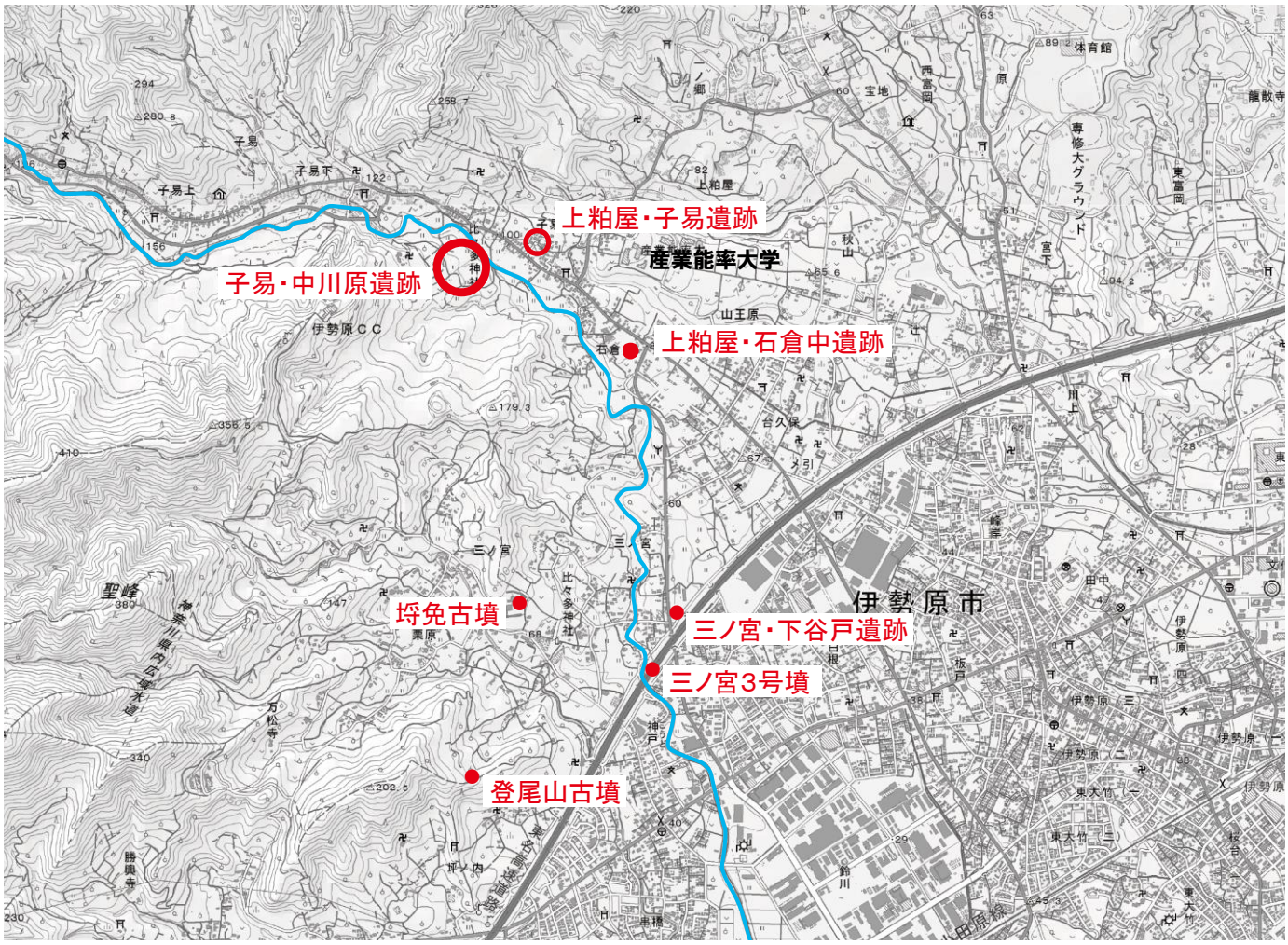


図１　子易・中川原遺跡周辺の分布図

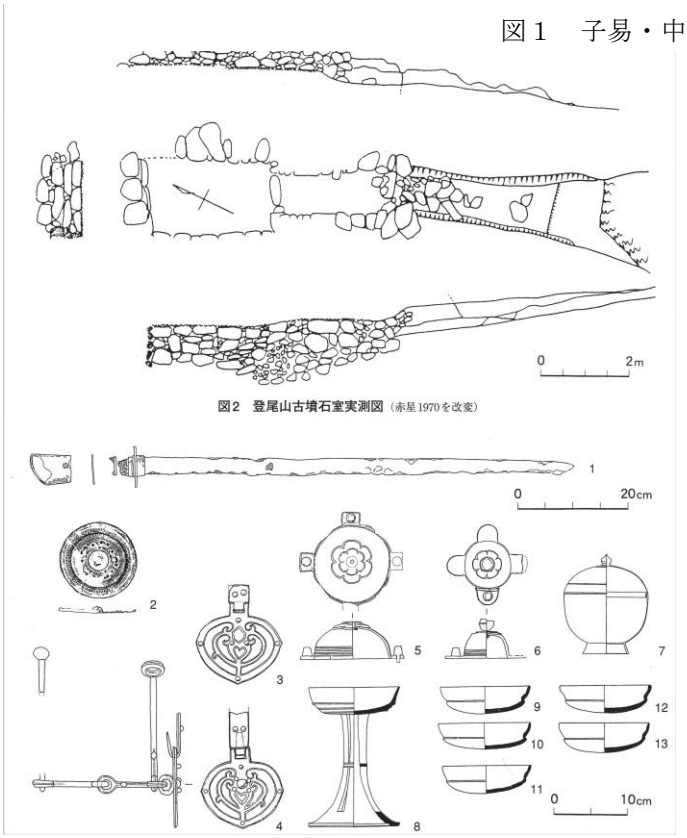


図４　発見当時の塚免古墳石室
（三之宮比々多神社所蔵、伊勢原市教育委員会提供）

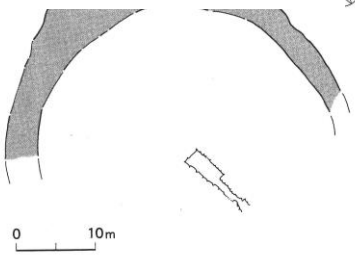


図５　塚免古墳の石室と周濠（林原利明氏原図提供）

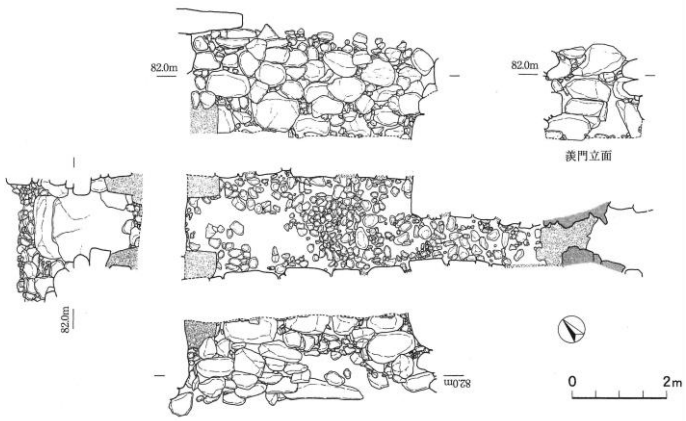


図６　塚免古墳石室実測図（伊勢原市教育委員会提供）

図２　登尾山古墳（左）・塚免古墳（右）　　（田尾 2007 より転載）

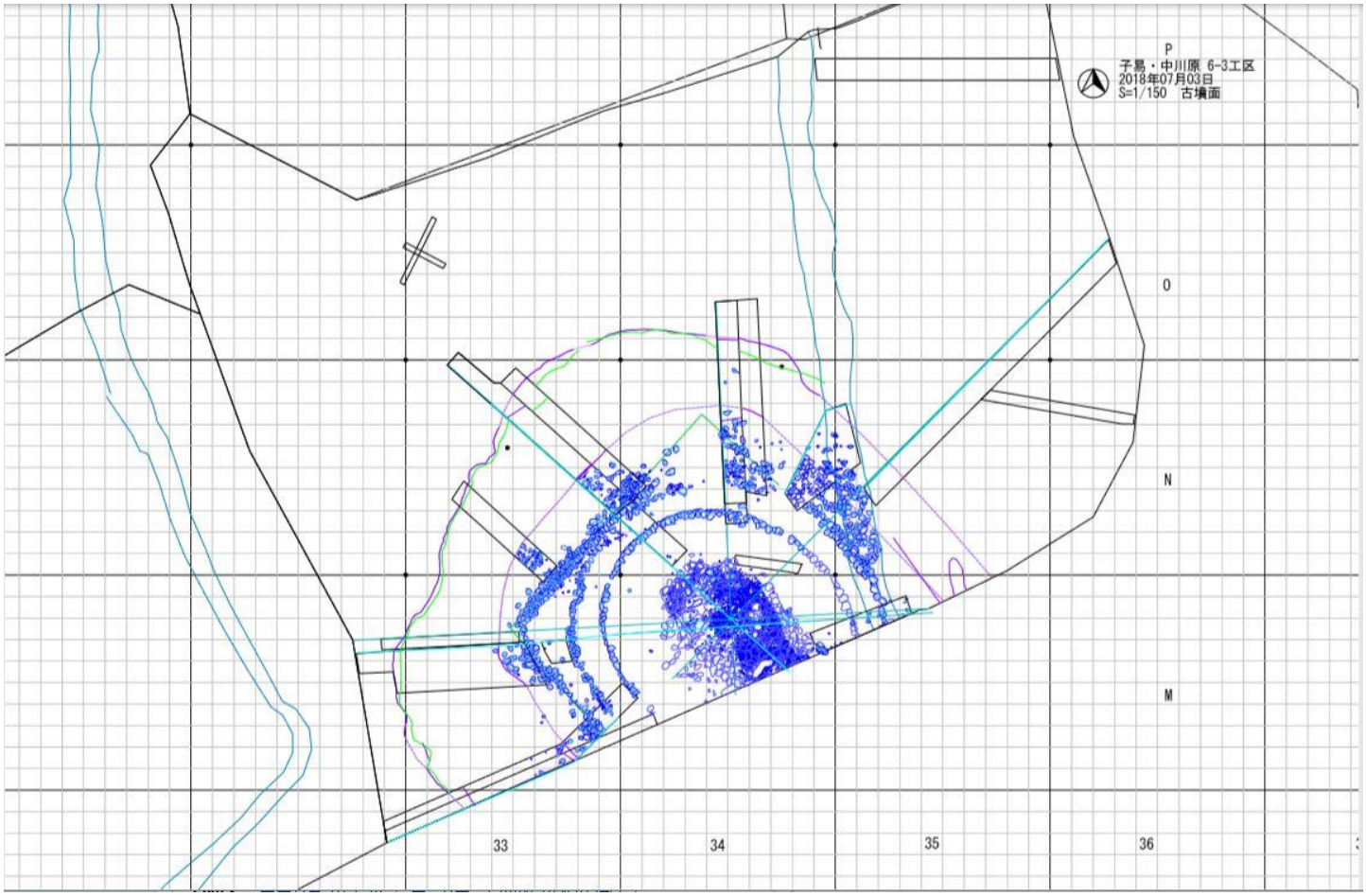


図３　子易・中川原遺跡１号墳

写真１　子易・中川原遺跡１号墳

写真２　子易・中川原遺跡１号墳溝状遺構

上粕屋・子易遺跡 13-4, 13-11, 13-5工区の古墳と出土遺物

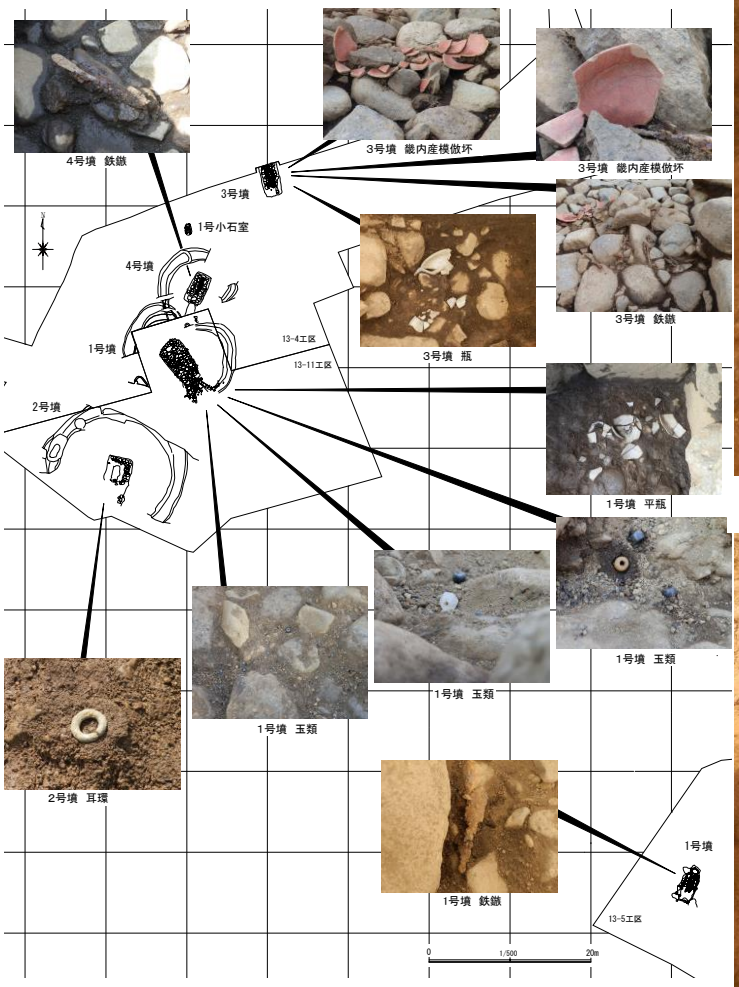


図４　上粕屋・子易遺跡１３工区の古墳と出土遺物

写真３　子易・中川原遺跡１号横穴墓全景

写真４　子易・中川原遺跡１号横穴墓（入り口から）

【用語解説】

・古墳―墳丘を持つ墓

・墳丘（ふんきゅう）―地山を削り出すか、盛土をして構築する

・周溝（しゅうこう）（周濠（しゅうごう））―古墳を囲っている溝

・横穴式石室―玄室と羨道（せんどう）部で構成され、墳丘の横に出入口がある

・玄室（げんしつ）―遺体を納める部分

・羨道（せんどう）―石室の入り口から玄室に通じる部分

・奥壁―玄室内の奥の壁

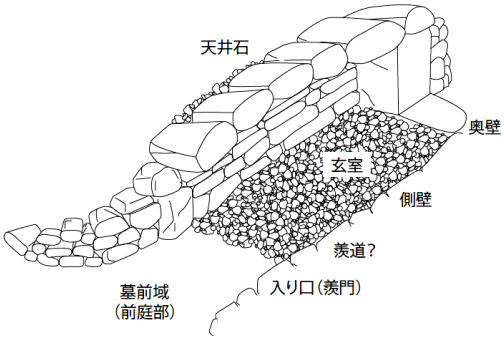
・側壁―石室内の左右の壁

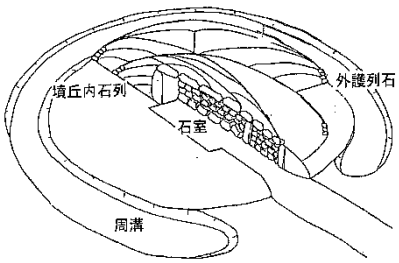
・天井石―側壁の上に石室の幅より長い長方形状の石を並べて架け渡した石

・方形石積（ほうけいいしづみ）（外護列石（がいごれつせき））―墳裾（ふんすそ）に積まれた列石で、子易・中川原遺跡１号墳では方形を呈している

・墳丘内石列―墳丘の構築過程で積まれた石列。墳丘内に取り込まれる

・前庭部（ぜんていぶ）―石室入り口の外側から周溝までの部分





『静岡県の横穴式石室』2003 静岡県考古学会　改変